

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	218	夢・実現学力向上研究事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
担当部課名	教育庁 義務教育課	事業実施 (予定)年度	平成 24 ~ 28 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	確かな学力を身につける 教育の推進		
事業内容	児童生徒の学力の定着や学習意欲の向上を図るため、個々の児童生徒の習熟度に応じた学習支援や、地域の人材等を活用した授業を市町村への委託により実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	(a) 当初予算額	43,756	—	43,692			
	(b) 予算現額	43,756	—	43,692			
	(c) 増減額 (b-a)	0	—	0			
	(d) 繰越額	—	—	—			
	A. 計 (b+d)	43,756	—	43,692			
	B. 執行済額	41,206	—	39,864			
	うち交付金充当額	32,965	—	31,891			
	C. 次年度繰越額	0	—	0			
	執行率 (%) (B/A)	94.2%	—	91.2%			
予算の状況の説明	・執行率は91.2%であり、委託先市町村において学習支援員の人材確保が難航し、事業実施が遅れたことから委託料に3,829千円の執行残が生じることとなった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	学習支援を実施する市町村数(委託数) 10市町村	目標	10市町村	10市町村			
		実績	10市町村	11市町村			
	各教科で地域人材等を活用した授業を実施する市町村数(委託数) 4市町村	目標	10市町村	4市町村			
		実績	2市町村	3町村			
達成状況説明	<p>児童生徒への学習支援を実施する「その日の学び振り返り研究事業」においては、11市町村の小中学校に学習支援員を配置し、活動目標を越える実績を達成することができた。</p> <p>地域人材等を活用した授業を実施する「地域教育資源活用研究事業」においては、3町村での事業実施となり、活動目標の75%の達成率となった。</p>						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (一年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (一年度)
	○沖縄県学力到達度調査(算数・数学)における県平均正答率と事業実施校における平均正答率との差を前年度より1ポイント以上改善	目標	—	—	前年度比1ポイント以上改善		—
		実績	—	実施校(小) 53.6% (県平均差△1.7%) 実施校(中) 40.2% (県平均差△0.3%)	実施校(小) 66.9% (県平均差△1.5%) 実施校(中) 49.2% (県平均差+1.7%)		—
	【参考指標】 沖縄21世紀ビジョン実施計画P353 全国学力・学習状況調査平均正答率(小・中学校)	目標	—	—	—		全国水準の達成 (28年度)
		実績	沖縄県 59.3% 全国 66.7% (基準22年8月)	沖縄県 55.8% 全国 62.1% (25年8月)	未確定 (26年8月)		—
進捗状況説明	<p>・平成25年度沖縄県学力到達度調査において、県小学校平均正答率と事業実施小学校の平均正答率との差は△1.5ポイントで前年度比0.2ポイントの改善に留まった。一方、県中学校平均正答率と事業実施中学校の平均正答率との差は+1.7ポイントで前年度比2.0ポイントの改善となった。以上のことから目標を一部達成と評価できる。</p> <p>・沖縄21世紀ビジョン実施計画PDCAの成果指標「文部科学省実施の全国学力・学習状況調査平均正答率(小・中学校)」について、平成25年度実績値が未確定ではあるが、県独自分析の結果、小学校において改善傾向にあるが、中学校においては大きな改善は見られず、全体として改善傾向には至っていない。</p>						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	1 地域教育資源活用研究事業については、地域人材を既に活用している学校が多く、研究事業で充実を図ろうとする市町村が少なかった。学力調査等への成果の検証が難しい。 2 その日の学び振り返り研究事業については、学習支援員への指導助言や教材の提供など、学校の関わりに差が見られた。 3 本事業の実施にあたり、市町村においては前年度で予算を確保する市町村が多くなり、夏休みまえまでに実施できる市町村が増えたが、全市町村が4月からの実施できることが望ましい。	1 地域教育資源活用研究事業については、すでに学校支援本部事業等の活用を通して実施している市町村が多いことから希望する市町村が少ない。 2 その日の学び振り返り研究事業については、年度途中で状況調査や視察を行い、成果のある市町村の状況を紹介するなどし、学習支援員の効果的な活用について助言する必要がある。また、事業効果の発現のためには、年度当初からの取組む必要がある。

今後の取り組み方針

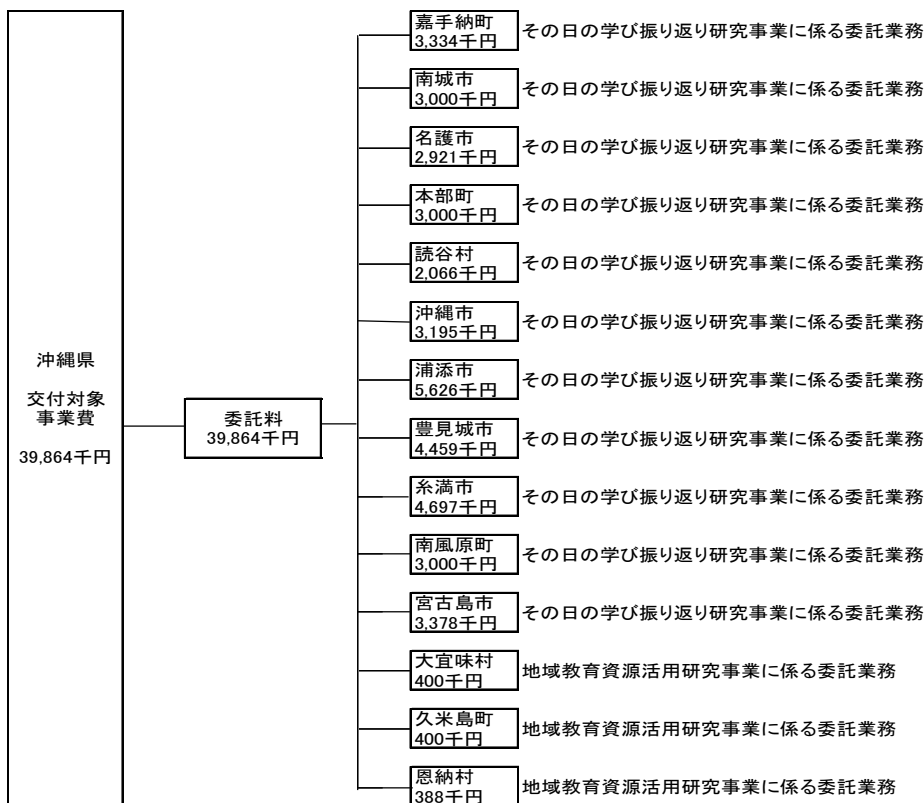
本県の児童生徒の学力を全国水準まで高めるために、学力が未定着の児童生徒の学習支援(その日の学び振り返り研究事業)は今後も必要である。

- 1 地域教育資源活用研究事業については、各学校への普及に努め、26年度をもって終了する。
- 2 その日の学び振り返り研究事業を4月に開始させるため、事前の調整を前年度の8月から行い、市町村において当初予算の確保に努めてもらうようにする。
- 3 学習支援員の活用について、市町村の担当指導主事と学校長へ好事例を示すなどして取組の充実を図る。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
39,864	39,864	31,891	7,973	0	0	0



資金の 使途の 流れ・ 費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	事業計画書及び事業予算書を基に選定している。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	資金等は県及び市町村の基準に則り、支払われている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	市町村からの資料を基に使途内容を精査している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	219	教員指導力向上事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(3)-ア		
			確かな学力を身につける教育の推進				
担当部課名	教育庁 義務教育課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 28 年度	沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-3-(1)	
事業内容	<p>○地区別ブロック型研究事業 ・算数・数学・英語の指導方法工夫改善担当教諭が、児童生徒の「確かな学力」の向上を目指しブロック型研修(近隣の教員同士の研修)と、各教育事務所での研修を行う。</p> <p>○授業改善研修事業 ・国立教育施策研究所の学力調査官を招聘して、小学校における国語の授業改善と、中学校における理科の授業改善に資する研修を行う。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,694	—	3,226		
		(b) 予算現額	4,694	—	3,226		
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0		
		(d) 繰越額	—	—	—		
		A. 計 (b+d)	4,694	—	3,226		
	B. 執行済額		2,826	—	2,237		
	うち交付金充当額		2,261	—	1,790		
	C. 次年度繰越額		0	—	0		
	執行率 (%) (B/A)		60.2%	—	69.3%		
予算の状況の説明		<p>・予算額は研修会の講師に係る旅費を計上したところであり、平成24年度と比べ1,468千円減額となっているのは、講師謝金の予算計上廃止に伴う報償費及び講師招聘回数の見直しに伴う旅費所要額の減による。</p> <p>・執行率は69.3%であり、研修会に招聘する県外講師の旅費単価の節減(ホテルパック利用等)により、当初予算額と執行済額に差が生じ989千円の執行残となった。</p>					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	○ブロック型研修会 60ブロック(6地区)×10回=600回	目標	264回 (33ブロック)	600回 (60ブロック)			
		実績	546回 (62ブロック)	630回 (63ブロック)			
	○授業改善研修会 ・小学校国語授業改善研修会 第1回(6地区×1=6回)+第2回(本島4地区×2+離島2地区×1=10回)=16回 ・中学校理科教諭授業改善研修会 6地区×1=6回	目標	6+12+18 =延べ36回	16+6 =延べ22回			
実績		6+12+18 =延べ36回	16+6 =延べ22回				
達成状況説明	<p>・原則として月に1回、各学校の指導方法等工夫改善に係る教員が参加して行われるブロック型研究会に関しては、当初、計画ブロック数を60ブロックとしていたが、実際は63ブロックに増えた。それに伴い研究会開催実績も630回となった。目標開催数(600回)と比較しても、当初の目標を達成している。</p> <p>・授業改善研修においては、小学校国語授業改善研修【第1回(6地区×1=6回)+第2回(本島4地区×2+離島2地区×1=10回)=16回】。中学校理科教諭授業改善研修(6地区×1=6回)を開催し、目標を達成した。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(-年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
	○ブロック型研修会 研修会での成果を校内へ波及させる取組を実施し、自校教員の指導力向上を図る。実施率100%を目指す。	目標	—	100%	100%		100%
		実績	—	62.6%	64.6%		—
	○授業改善研修会 ・小学校国語授業改善研修会 ・中学校理科教諭授業改善研修会における授業改善のポイントを反映させた授業を確実に実施する。実施率100%を目指す。	目標	—	—	100%		100%
		実績	—	—	74.6%		—
【参考指標】 沖縄21世紀ビジョン実施計画P354 全国学力・学習状況調査平均正答率(小・中学校)	目標	—	—	—		全国水準の達成(28年度)	
実績	沖縄県 59.3% 全国 66.7% (基準22年8月)	沖縄県 55.8% 全国 62.1% (25年8月)	未確定 (26年8月)		—		
進捗状況説明	<p>「ブロック型研究会」:指導方法等工夫改善担当教員の各学校での授業改善への取組(児童生徒に思考・判断・表現させるための発問や活動方法の工夫等)や、校内における学力向上推進の方法等を協議・情報交換できた。25年度の実績値は平成26年2月に指導方法等工夫改善担当教諭に行ったアンケート調査において「学力調査官招聘授業研修会の内容について、校内において報告した」と回答した割合の数値である。</p> <p>「授業改善研修会」:講師である国立教育施策研究所学力調査官から、最先端の実践や理論の講義を受講した参加教師は、授業の過程において、どのタイミングで、どのような発問を発し、どのような活動を行わせることが、児童生徒の思考力・判断力・表現力の育成に繋がるのか等の方策を得て、そのヒントを自分の授業に反映させることによって指導力の向上を図った。25年度の実績値は平成26年2月に小学校国語授業改善研修会に参加した教諭に行ったアンケート調査において「授業改善のポイントを反映させた授業を実践した」と回答した割合の数値である。</p> <p>・沖縄21世紀ビジョン実施計画PDCAの成果指標「文部科学省実施の全国学力・学習状況調査平均正答率(小・中学校)」について、平成25年度実績値が未確定ではあるが、県独自分析の結果、小学校において改善傾向にあるが、中学校においては大きな改善は見られず、全体として改善傾向には至っていない。</p>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 「ブロック型研究会」「授業改善研修会」の参加者は、共に95%以上が「研修は自分の授業改善に役立った」とアンケートに答えており、教員指導力向上事業は、参加教師の授業における指導力向上に、一定の効果があったと考える。 指導方法等工夫改善担当教諭(ブロック型研究会受講者)には研修で得た成果を授業改善に生かし、校内に広く波及させていくための校内研修の実施を推奨しているが、その実施実績は目標値には届いていない。 授業改善研修会については、参加者に学力調査官の講話のポイントを反映させた授業を実践させ、研修の成果を着実に自己の指導力向上に生かす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導方法等工夫改善担当教諭においては、校内の授業改善推進のために、教員指導力向上事業とリンクした校内研修のさらなる充実を図る必要がある。 ブロック型研究会においては、各教育事務所担当指導主事の協力も仰ぎながら、協議を深めていく内容として「校内の授業改善推進」の視点を強化する必要がある。 教育事務所や各小中学校長に協力を仰ぎながら、学力調査官の講話のポイントを反映させた授業実践をサポートし、授業改善研修会参加者の着実な授業改善を推進する必要がある。 授業改善研修会に参加した教師が、研修の成果を同僚と共有できる校内研修計画の構築・推進をさらに推進していく必要がある。

今後の取り組み方針

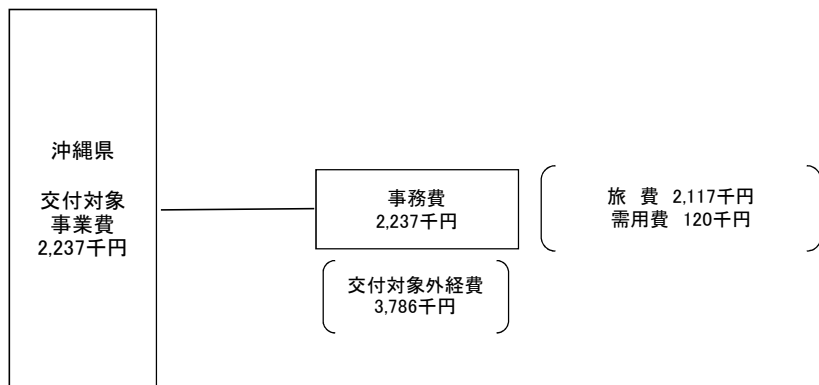
・本県児童生徒の学力上の課題である思考力・判断力・表現力の育成については、継続的な授業改善の取組が必要なため、今後も引き続き、教員指導力向上事業を実施していく。

・ブロック型研修会においては、指導方法等工夫改善担当教諭の「校内の授業改善推進」のスキルアップを図る視点を強化する。

・研修の成果を共有できる校内研修計画の確実な実施・運営を、管理職研修や研究主任研修等で周知徹底することで管理職の協力を仰ぎ、校内における授業改善のより一層の推進を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
6,023	2,237	1,790	447	0	0	3,786



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 予算規模については、旅費単価の節減による執行残があるものの、講師招聘に必要な適正な規模である。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	220	離島・へき地における学習支援事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア			
担当部課名	教育庁 義務教育課	事業実施 (予定)年度	平成 24 ~ 26 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	確かな学力を身につける 教育の推進			
事業内容	離島・へき地における進学に不利な状況の改善を図るため、学習支援員を配置し、放課後や土曜日等に学習支援を実施することで生徒の進学を支援する事業							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度		
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	18,262	—	18,123			
		(b) 予算現額	18,262	—	18,123			
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0			
		(d) 繰越額	—	—	—			
	A. 計 (b+d)		18,262	—	18,123			
	B. 執行済額		7,536	—	10,169			
	うち交付金充当額		0	—	8,135			
	C. 次年度繰越額		0	—	0			
	執行率 (%) (B/A)		41.3%	—	56.1%			
予算の状況の説明		・執行率は56.1%であり、補助予定市町村の予算確保と学習支援員の人材確保の難航により、当初予定していた9市町村12箇所から6市町村10箇所での実施及び事業開始が1~2ヶ月遅れたことにより、補助金に7,954千円の執行残が生じることとなった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	生徒の進学を支援する市町村数 9市町村 (学習支援員12名配置)を目標とする。	目標	9市町村12名	9市町村12名				
		実績	6町村9名	6市町村10名				
		目標						
実績								
達成状況説明	・当初9市町村に12箇所の学習支援室の開設を目標としていたが、中学3年生の在籍自体が少ない、離島へき地のため学習支援員や宿舍の確保が困難であるなどの理由により、6市町村10箇所での実施にとどまり目標未達成となった。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (-年度)	
	○高校入試の平均得点の差(全県とへき地で学習支援員を配置した地域の差)を縮小する。 -21点 → -10点 (H23) (H25)	目標	—	高校入試の平均点との差 -5.5点	高校入試の平均点との差 -10点			—
		実績	高校入試の平均点との差 -21点	高校入試の平均点との差 -23点	高校入試の平均点との差 -10点			—
	○学習支援を行った生徒の高校合格率100%を目指す。	目標	—	合格率100%	合格率100%			—
		実績	合格率98% 1次93% 2次5%	合格率100% 1次97% 2次3%	合格率100%			—
進捗状況説明	・平成25年度学習支援事業取組校の高校入試平均点は126.5点で県平均との差は-9.5であった。平成24年度県平均との差に比べかなり縮まったが、1校の平均点が197点とかなり高いためだと分析できる。しかし、この1校を除いても、学習支援事業取組校平均点は116.4点となり、県との差は-19.6となるため全体的に学習支援の効果があつたと考えられる。							

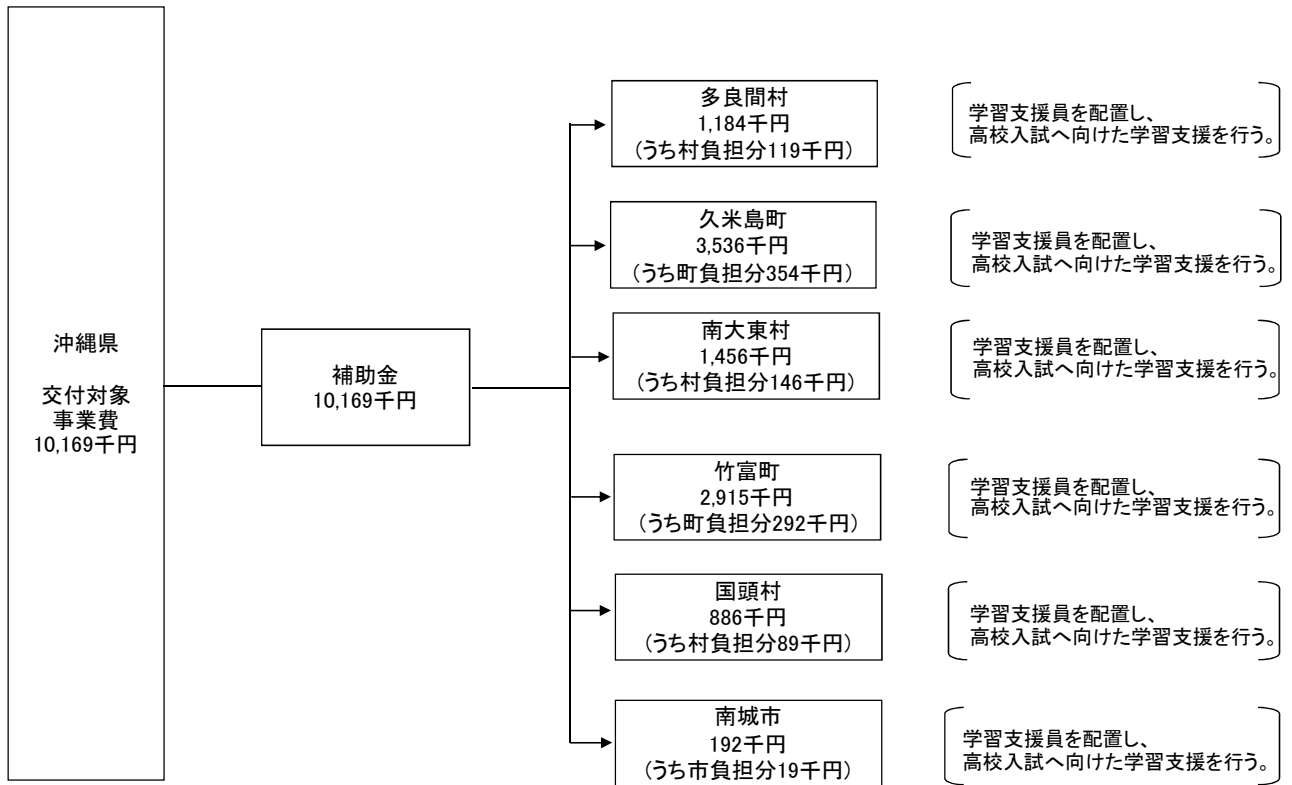
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の取り組み方針に基づき、学習支援員等の人材確保を促し事業実施町村の拡大を図ってきたが、活動目標の達成に至っていない現状にある。事業未実施の対象市町村に対し、事業への更なる理解を促すとともに、事業実施の障害となっている人材確保のため必要な手立てを行うがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 人材確保の円滑化のため、学習支援員の任用要件を教員免許状保有者に限らず、「市町村教育長が指導力十分と認める者」も任用が可能となるよう要件を緩和する必要がある。 補助金交付申請期限の見直しを図り、市町村が年度中途からでも積極的に学習支援事業に参加できるよう運用の改善を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

- 人材確保の円滑化のため、学習支援員の任用要件を教員免許状保有者に限らず、「市町村教育長が指導力十分と認める者」も任用が可能となるよう要件を緩和する。
- 補助金交付申請期限の見直しを図り、市町村が年度中途からでも積極的に学習支援事業に参加できるよう運用改善を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
10,169	10,169	8,135	1,015	1,019	0	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・財源の確保が厳しい離島・へき地の町村については、1割負担は妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	212	教育相談・就学支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(3)-イ		
担当部課名	教育庁 県立学校教育課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 26 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	基本施策名 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	県立高等学校における不登校や引きこもりなどの生徒を支援するため、社会福祉士や精神保健福祉士等の資格をもった就学支援員を学校へ派遣し、家庭訪問等の実施によるカウンセリングや就学支援を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,146	—	19,035		
		(b) 予算現額	14,146	—	19,035		
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0		
		(d) 繰越額	—	—	—		
		A. 計 (b+d)	14,146	—	19,035		
	執行率 (%) (B/A)	B. 執行済額	5,329	—	17,514		
		うち交付金充当額	4,263	—	14,011		
		C. 次年度繰越額	0	—	0		
	執行率 (%) (B/A)	37.7%	—	92.0%			
予算の状況の説明	・支援員の確保が難しく、学校への配置が順次行われたため、執行率が低下した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	就学支援員の派遣校数	目標	15校	15校			
		実績	5校	13校			
		目標					
		実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、契約方法や支援員の配置時間等の計画の見直しに伴い事業開始が遅れ、就学支援員配置校数が13校となった。 ・就学支援員の配置時間を週6時間から週8時間へ延長し、より充実した支援を図ることができた。 ・カウンセリング等を実施したことから、7割を超える不登校傾向の生徒に改善が見られた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(26年度)
	カウンセリング等の支援を行ったケースの7割を不登校傾向から改善させる。	目標	—	7割	7割		7割
		実績	—	6.9割	7.8割		—
		目標					
		実績					
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度において、事業実施が9月からと遅れていたことから、平成25年度は6月からの実施を図った。 ・平成25年度は配置校1校当たり心理と福祉の専門家2名を割り当て、15名の支援員を配置した。 ・470名の生徒に対して、カウンセリング等の支援を行った結果367名が不登校傾向からの改善が見られた。そのうち、不登校生徒の176名については、登校できるようになった。 					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、計画の見直しに伴い事業開始が遅れ、執行伺い、業者募集、委託先決定、業者による就学支援員の求人・採用を経て、学校へ派遣したため、やや遅れ気味のスタートとなった。しかし、本事業において、カウンセリング等を実施したことから、7割を超える不登校傾向の生徒に改善が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援員を年度当初から配置できるように、早期の委託業者の決定を行い、支援員の確保に努める。 学校の要望と支援が合致するために、コーディネーターへの意見集約が大切であることから、配置校担当者との連携を推進する。 学校での研修や委託業者での研修を通して、情報の共有化を図りカウンセリング対象生徒への対応力を高める。

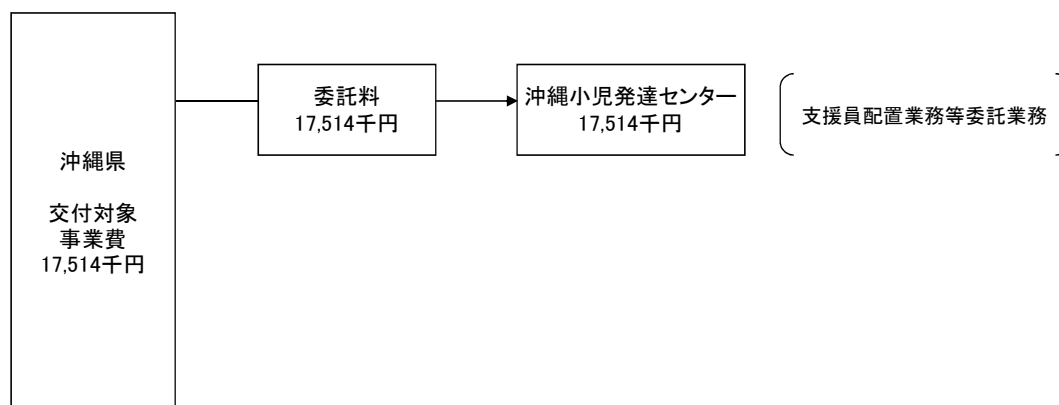
今後の取り組み方針

- 平成26年度が事業最終年となっている。支援員配置校では不登校傾向生徒の改善が見られ、学校から事業継続の要望もあることから、平成27年度以降についても、後継事業の創設に取り組む。
- 本事業の活性化を図るため、中心的な役割を担うコーディネーターの役割を強化し、①事業実施における学校等との窓口・事業の進捗管理、②支援員派遣に係る諸業務(募集・登録・調整)、③派遣支援員のマッチング、④支援員との相談窓口、⑤教員等に対する校内研修の企画・実施、⑥支援員養成研修の開催などを実施し、本事業の更なる推進を図る。

また、「無気力」や「あそび非行」がきっかけで不登校になる生徒が多いことから、臨床心理士等の有資格者を活用し、様々な支援ができるよう強化を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
17,514	17,514	14,011	3,503	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託事業者は、公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で決定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	216	中学生いきいきサポート事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ			
担当部課名	教育庁 義務教育課	事業実施 (予定)年度	平成 24 ~ 26 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む 教育の推進		
事業内容	不登校生徒の登校復帰やあそび・非行傾向にある生徒の立ち直り支援の充実を図るため、中学校に「中学生いきいきサポート相談員」を配置し、相談活動や登校支援、学習支援等を行なう。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	41,163	—	64,000		
		(b) 予算現額	41,163	—	64,000		
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0		
		(d) 繰越額	—	—	—		
	A. 計 (b+d)		41,163	—	64,000		
	B. 執行済額		35,704	—	61,562		
	うち交付金充当額		28,563	—	49,250		
	C. 次年度繰越額		0	—	0		
	執行率 (%) (B/A)		86.7%	—	96.2%		
予算の状況の説明		<p>・予算額は相談員配置に伴う報酬等を計上したところであり、平成24年度と比べ22,837千円増額となっているのは、平成24年度が交付決定7月(事業開始8月)、平成25年度が4月交付決定(事業開始4月)となったことに伴う年間所要額の増による。</p> <p>・執行率は96.2%であり、報酬等(通勤費用相当額)の実績額が当初見込額を下回ったため、2,438千円の執行残が生じたこととなった。</p>					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	中学生いきいきサポート相談員配置数 39人(39校へ配置)	目標	39人 (39校)	39人 (39校)			
		実績	43人 (43校)	45人 (42校)			
達成状況説明	当初39人(39中学校)へ相談員の配置を計画していたが、困難校の現状を勘案し配置校を3中学校増やし42校とし、延べ45人の相談員配置となり目標を達成した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (26年度)
	不登校生徒数の減少 平成23年度(公立)1379人 平成24年度(公立)1296人以下 平成25年度(公立)1200人以下	目標	—	1,296人以下 (6%減)	1,200人以下 (7%減)		1,100人以下 (20%減)
		実績	1,379人	1,291人 (6%減)	【暫定値】 1,564人 (13%増)		—
	【参考指標】 沖縄21世紀ビジョン実施計画P355 小中高校不登校率	目標	—	—	—		小 0.27% 中 2.50% 高 1.60% (28年度)
実績		小 0.37% 中 2.60% 高 2.97% (基準22年度)	小 0.36% 中 2.72% 高 3.22% (24年度)	【暫定値】 小 0.39% 中 3.15% 高 2.40% (25年度)		—	
進捗状況説明	<p>・平成25年度の本県不登校生徒数は、暫定値(H26年6月集計値)で1,564人と対基準年度(H23年度)比185人増となっており目標未達成となった。相談員配置校については不登校生徒数が減少傾向にあるが、未配置校における不登校生徒数の増加が要因と考えられる。</p> <p>・沖縄21世紀ビジョン実施計画PDCAの成果指標「小中高校不登校率」について、(平成25年度暫定値:H26年6月集計値)小中学校の不登校率が悪化している。原因として、基本的な生活習慣が確立できず不登校につながる児童生徒の増加、無気力による不登校児童生徒の増加、欠席を安易に容認する保護者の増加等が考えられる。</p>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>前年度の取り組み方針に基づき支援を行った結果、相談員配置校の対象生徒が高校進学を目指すなど学習意欲が高まり、時差登校が改善される等、一定の効果が確認できたが、更なる効果的な支援を実施するための課題として以下の点が挙げられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○配置校に関しては、不登校生徒数の減少及び増加傾向の抑制など一定の効果が認められるが、相談員の配置人数の限りから、未配置校の新たな不登校事案に対応できていない現状がある。 ○小学校から、相談員配置を要望する声があるが、配置対象が中学校に限定されており対応できない現状がある。 ○あそび・非行生徒の一人ひとりの状況に応じた支援が必要だが、支援の対象となる生徒数が多くなると対応できない現状がある。 ○生活リズムの乱れから不登校につながるケースがあるが、家庭環境に起因するケースが多く、保護者への支援も必要な場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○県と市町村の役割を見直し、市町村独自の支援事業の立ち上げなど支援体制の確保を検討させる必要がある。 ○支援が必要な小学校への配置が可能となるよう、配置対象校の見直しなどを検討する必要がある。 ○支援対象者の多い困難校に対して複数の相談員で対応できる方法を検討する必要がある。 ○保護者と学校及び関係機関とのつながりを確保し、家庭環境の改善に向けた支援を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

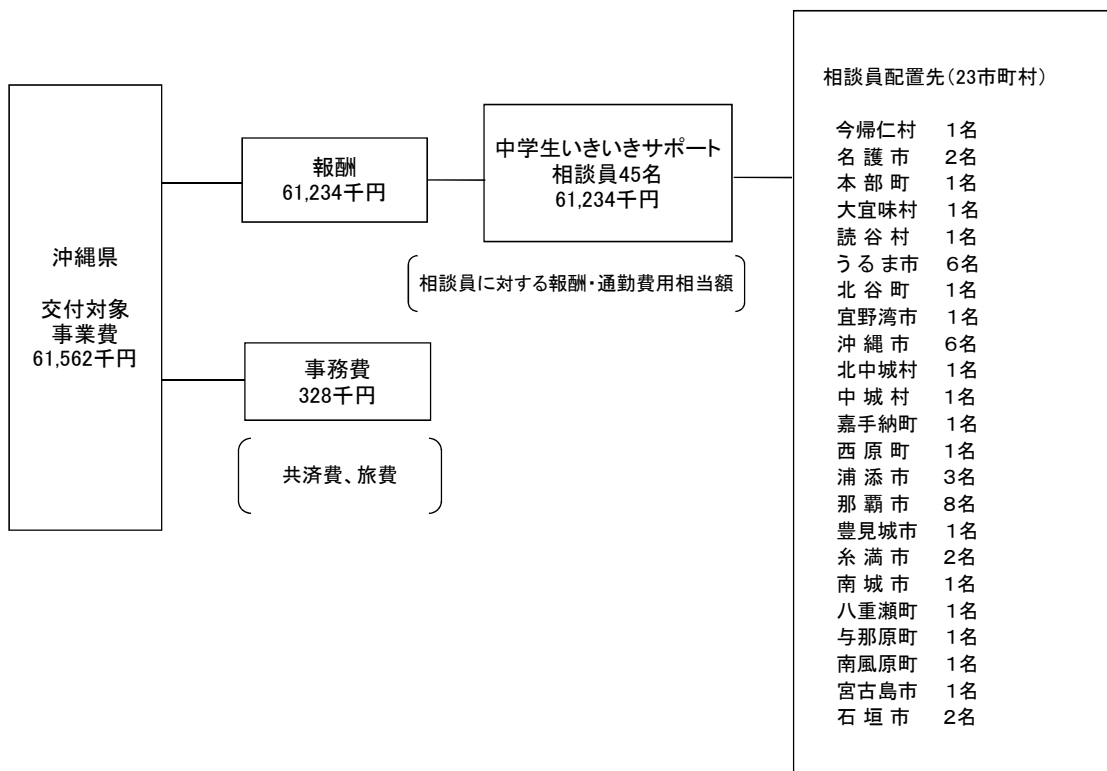
本県の課題である、不登校生徒の登校復帰やあそび非行生徒の立ち直り支援については、今後も継続して実施する必要があるため下記の取り組みを行う。

- 支援体制の拡充のため、市町村独自の相談員配置事業を立ち上げを推奨する。
- 小学校への支援が可能となるよう事業内容の見直しをおこなう。
- 支援方法として学校配置方式に加え、迅速な支援対応が可能な学校巡回方式の導入を図る。
- 相談員とスクールソーシャルワーカーとの連携強化により、家庭環境の改善に向けた保護者支援を行い当該生徒の生活リズム改善を行う。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
61,562	61,562	49,250	12,312	0	0	0



資金の流し、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流し、費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	費目、用途については、事業目的達成に必要な相談員配置に係る予算執行に限られており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	208	即戦力アップ教育環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ		
担当部課名	教育庁 教育支援課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	基本施策名 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	高校生を即戦力のある人材に育成し、就職内定率を向上させるため、国家資格の取得や校内実習での技術力向上に必要な設備を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	57,001	—	50,275		
		(b) 予算現額	57,001	—	50,275		
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0		
		(d) 前年度繰越額	—	—	—		
	A. 計 (b+d)		57,001	—	50,275		
	B. 執行済額		49,899	—	50,262		
	うち交付金充当額		39,919	—	40,210		
	C. 次年度繰越額		0	—	0		
	執行率 (%) (B/A)		87.5%	—	100.0%		
予算の状況の説明		整備備品件数が11備品から10備品に減少したため、予算額は6,726千円減少している。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	技術力向上に向けた機器の整備	目標	11件	10件			
		実績	11件	10件			
		目標					
		実績					
達成状況説明	技術力向上のために必要な備品の整備を、計画した学校に対して整備を行うことができた。 ○技術力向上のための備品: 移動式アーク溶接機、自動車カッターモデル等						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
	今年度整備を行った箇所における教育環境が改善された割合	目標	—	学校環境づくりを図る	100%		100%
		実績	—	学校環境づくりを図った	100%		100%
		目標					
		実績					
	進捗状況説明	国家資格の取得や技術力向上のために必要かつ、時代のニーズに対応した最新備品の整備を行うことで、生徒の職業意識を養い、就職率の向上を図る。 計画どおり、専門高等学校9校に10備品を整備することができた。 こうした整備により教育環境が改善されることで、沖縄県PDCAの成果目標である「高等学校卒業生の進路決定率」の向上へと繋がる。 平成26年度も引き続き事業目的を達成するために必要な備品の整備を行っていく予定である。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成24年度は教育環境改善効果を数値化するために整備対象校にアンケートを実施した。アンケートの結果を検証すると、活用時間数や習得した技術を活かす機会を設ける頻度にばらつきがみられていた。	整備備品、活用時間、職業体験の実施状況等の情報を学校間で共有できる仕組みをつくり、教育環境改善において学校間のばらつきが無くなるように努める。

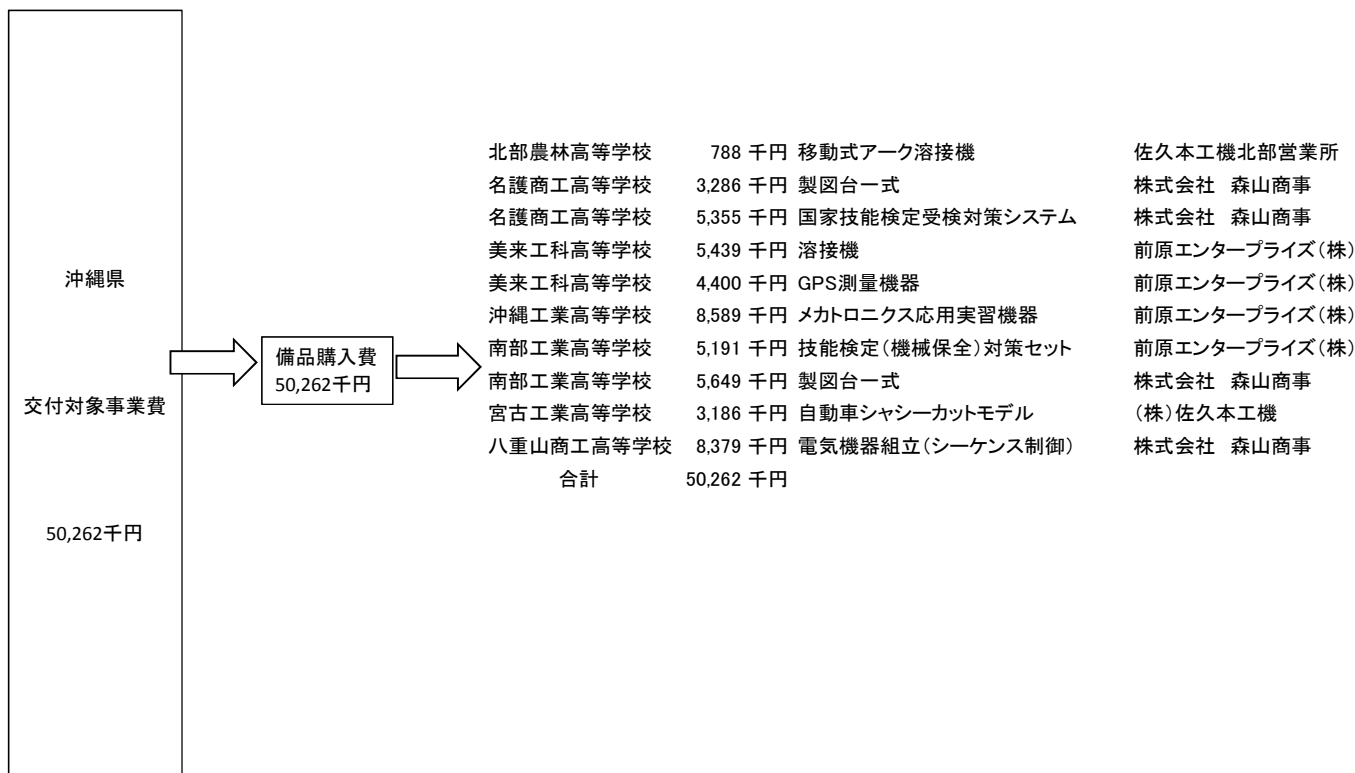
今後の取り組み方針

本件の高校生の就職内定率は全国最下位に位置している状況が続いている状況であるため、高校生の就職内定率向上に向け、引き続き事業を行っていく。

より効果的な教育環境改善のため、実績報告時に提出するアンケートの情報を集約し、事業対象高等学校全体で整備備品、活用時間、職業体験の実施状況等の情報を共有し、教育環境改善における学校間のばらつきを防ぐ。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
50,262	50,262	40,210	10,052	0	0	0



資金の流 れ、費 目 ・ 費 目 ・ 費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	費目・用途については、実績報告時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	210 県立学校施設等塩害防止・長寿命化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ				
担当部課名	教育庁 施設課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 33 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校造りの推進		
事業内容	塩害や紫外線により経年劣化の進行が早い本県の県立学校施設の長寿命化を図るため、外壁補修、塗装改修及び屋根防水改修を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他（工事請負費）						
予算額・執行額【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	246,960	—	588,223		
		(b)予算現額	454,860	—	588,223		
		(c)増減額(b-a)	207,900	—	0		
		(d)前年度繰越額	—	—	—		
	A. 計(b+d)		454,860	—	588,223		
	B. 執行済額		449,726	—	573,009		
	うち交付金充当額		359,781	—	458,407		
	C. 次年度繰越額		0	—	0		
	執行率(%) (B/A)		98.9%	—	97.4%		
予算の状況の説明		入札残により、委託料に執行残が生じたが、概ね当初計画どおり事業を実施。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況					
	施設等の耐用年数向上に向けた塩害防止・長寿命化対策の実施		24年度	25年度	26年度	27年度	
		目標	13校(築20年目)面積36,100㎡	県立学校施設等(約築20年目)17施設(45,109㎡)			
		実績	13校面積36,394㎡	17施設面積45,248㎡			
		目標					
	実績						
達成状況説明	平成25年度予定した高校14校33,301㎡、特別支援学校1校2,958㎡、青少年の家8,989㎡を実施。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(-年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(-年度)	
	10年間で長寿命化が必要な学校施設等の延べ面積559,131㎡に対し、事業の実施により、安全が維持された施設等の割合(延べ面積:累積)	目標		塩害防止・長寿命化対策による学校施設の安全確保を図る。	H25 14.6% 81,503㎡(30施設)		
		実績		塩害防止・長寿命化対策による学校施設の安全確保が図られた。	H25 14.6% 81,642㎡(30施設)		
		目標					
		実績					
	進捗状況説明	沖縄県は、周囲を海に囲まれ南北に細長いため、全域が塩害対策を要する地域に指定され、コンクリート建造物の劣化が早く30~35年程度で改築している状況であることから、沖縄振興特別推進交付金を利用し、県立学校施設等塩害防止・長寿命化事業を実施することで、常に安全な学校施設を維持するとともに、公有財産の適正な管理を行うことが出来る。また、当該対策事業により、少なくとも県外施設と同等の寿命(耐用年数60年程度)の確保することで、長期的なコスト縮減が図られる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>外壁などのクラックを補修する際に騒音を発生させる工事を伴うため、授業などに支障が生じる。また、外廊下の塗装工事の際に足場などを設置する必要があり、生徒の移動に支障が出る工事がある。</p>	<p>工事実施に伴う、生徒の学校活動等に支障が出ないよう、夏休みの期間をうまく活用して、影響の大きい工種を集中させるなど、工程を検討していく必要がある。</p>

今後の取り組み方針

夏休みの期間内に、生徒の学校活動等に支障が出る影響の大きい工種を完了させるために、前年度設計を実施、早期の交付決定による早期の工事着手を図り、事業を円滑に進めていきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
573,009	573,009	458,407	114,602	0	0	0

<p>沖縄県 交付対象事業費 573,009千円</p>	<p>委託料 54,899千円</p>	<table border="1"> <tr><td>大空企画 有限会社</td><td>651千円</td><td>石川高校(体育館)外壁補修工事に關する設計委託業務</td></tr> <tr><td>比屋根設計</td><td>2,468千円</td><td>糸満高校(管理棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務</td></tr> <tr><td>ゆう設計工房</td><td>809千円</td><td>浦添高校(体育館)外壁補修工事に關する設計委託業務</td></tr> <tr><td>(株)具志堅建築設計事務所</td><td>1,460千円</td><td>沖縄工業高校(生活情報科棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務</td></tr> <tr><td>陽建築デザイン</td><td>746千円</td><td>沖縄水産高校(産振施設棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務</td></tr> <tr><td>有限会社 設計集団ファイブ</td><td>756千円</td><td>嘉手納高校(体育館)外壁補修工事に關する設計委託業務</td></tr> <tr><td>アトリエ 海風</td><td>840千円</td><td>球陽高校(体育館)外壁補修工事に關する設計委託業務</td></tr> <tr><td>屋プランニング</td><td>6,761千円</td><td>向陽高校外壁補修工事に關する設計・監理委託業務</td></tr> <tr><td>(株)建築設計同人 匠才庵</td><td>1,869千円</td><td>コザ高校(普通教室棟・理科棟)外壁補修工事に關する設計委託業務</td></tr> <tr><td>玉寄設計室</td><td>1,722千円</td><td>知念高校(体育館)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務</td></tr> <tr><td>碧(Aoi)建築設計事務所</td><td>1,659千円</td><td>中部農林高校(産振教室棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務</td></tr> <tr><td>屋比久建築設計室</td><td>1,439千円</td><td>豊見城高校(芸術特別教室)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務</td></tr> <tr><td>陽建築デザイン</td><td>588千円</td><td>豊見城高校(特別教室棟(生活))外壁補修工事に關する設計委託業務</td></tr> <tr><td>知念建築設計事務所</td><td>662千円</td><td>名護商工高校(総合情報科棟)外壁補修工事に關する設計委託業務</td></tr> <tr><td>ポイントウォーカーデザイン</td><td>546千円</td><td>那覇工業高校(服飾デザイン科棟)外壁補修工事に關する設計委託業務</td></tr> <tr><td>屋プランニング</td><td>767千円</td><td>南部工業高校(普通教室棟)外壁補修工事に關する設計委託業務</td></tr> <tr><td>比屋根設計</td><td>683千円</td><td>南部商業高校(産振棟)外壁補修工事に關する設計委託業務</td></tr> <tr><td>新設計</td><td>1,271千円</td><td>南部農林高校(生活科実習棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務</td></tr> <tr><td>コア設計・企画</td><td>567千円</td><td>南部農林高校(体育館)外壁補修工事に關する設計委託業務</td></tr> <tr><td>株式会社KS設計室</td><td>2,699千円</td><td>北部農林高校(生活科学科棟、体育館、体育教官室)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務</td></tr> <tr><td>きた建築設計事務所</td><td>2,867千円</td><td>前原高校(管理棟、特別棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務</td></tr> <tr><td>有限会社 仲本設計</td><td>756千円</td><td>真和志高校(理科棟)外壁補修工事に關する設計委託業務</td></tr> <tr><td>AKI企画設計室</td><td>467千円</td><td>美里工業高校(機械科実習棟)外壁補修工事に關する設計委託業務</td></tr> <tr><td>大成設計事務所</td><td>1,096千円</td><td>宮古高校(特別教室棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務</td></tr> <tr><td>有限会社 ヤマサト設計</td><td>861千円</td><td>宮古総合実業高校(海洋工学実習棟)外壁補修工事に關する設計委託業務</td></tr> <tr><td>有限会社 シモマサ設計</td><td>1,596千円</td><td>宮古総合実業高校(商業棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務</td></tr> <tr><td>有限会社 エン設計</td><td>1,701千円</td><td>美来工科高校(管理棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務</td></tr> <tr><td>YOU設計室</td><td>788千円</td><td>八重山高校(体育館)外壁補修工事に關する設計委託業務</td></tr> <tr><td>匠設計室</td><td>1,512千円</td><td>八重山高校(図書館棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務</td></tr> <tr><td>株式会社 守下設計</td><td>662千円</td><td>八重山商工高校(普通教室棟)外壁補修工事に關する設計委託業務</td></tr> <tr><td>玉城建築設計事務所</td><td>2,730千円</td><td>八重山農林高校(管理棟、多目的教室、食品製造科棟、緑地土木科棟)外壁補修工事に關する設計委託業務</td></tr> <tr><td>株式会社 アムルデザイン</td><td>2,420千円</td><td>沖縄高等特別支援学校(寄宿舎棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務</td></tr> <tr><td>株式会社 まつけん設計</td><td>1,103千円</td><td>大平特別支援学校(普通教室棟、管理棟)外壁補修工事に關する設計委託業務</td></tr> <tr><td>有限会社 グロリア</td><td>3,866千円</td><td>糸満青少年の家(本館・体育館)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務</td></tr> <tr><td>平田設計</td><td>3,517千円</td><td>名護青少年の家(本館・体育館)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務</td></tr> </table>	大空企画 有限会社	651千円	石川高校(体育館)外壁補修工事に關する設計委託業務	比屋根設計	2,468千円	糸満高校(管理棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務	ゆう設計工房	809千円	浦添高校(体育館)外壁補修工事に關する設計委託業務	(株)具志堅建築設計事務所	1,460千円	沖縄工業高校(生活情報科棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務	陽建築デザイン	746千円	沖縄水産高校(産振施設棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務	有限会社 設計集団ファイブ	756千円	嘉手納高校(体育館)外壁補修工事に關する設計委託業務	アトリエ 海風	840千円	球陽高校(体育館)外壁補修工事に關する設計委託業務	屋プランニング	6,761千円	向陽高校外壁補修工事に關する設計・監理委託業務	(株)建築設計同人 匠才庵	1,869千円	コザ高校(普通教室棟・理科棟)外壁補修工事に關する設計委託業務	玉寄設計室	1,722千円	知念高校(体育館)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務	碧(Aoi)建築設計事務所	1,659千円	中部農林高校(産振教室棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務	屋比久建築設計室	1,439千円	豊見城高校(芸術特別教室)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務	陽建築デザイン	588千円	豊見城高校(特別教室棟(生活))外壁補修工事に關する設計委託業務	知念建築設計事務所	662千円	名護商工高校(総合情報科棟)外壁補修工事に關する設計委託業務	ポイントウォーカーデザイン	546千円	那覇工業高校(服飾デザイン科棟)外壁補修工事に關する設計委託業務	屋プランニング	767千円	南部工業高校(普通教室棟)外壁補修工事に關する設計委託業務	比屋根設計	683千円	南部商業高校(産振棟)外壁補修工事に關する設計委託業務	新設計	1,271千円	南部農林高校(生活科実習棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務	コア設計・企画	567千円	南部農林高校(体育館)外壁補修工事に關する設計委託業務	株式会社KS設計室	2,699千円	北部農林高校(生活科学科棟、体育館、体育教官室)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務	きた建築設計事務所	2,867千円	前原高校(管理棟、特別棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務	有限会社 仲本設計	756千円	真和志高校(理科棟)外壁補修工事に關する設計委託業務	AKI企画設計室	467千円	美里工業高校(機械科実習棟)外壁補修工事に關する設計委託業務	大成設計事務所	1,096千円	宮古高校(特別教室棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務	有限会社 ヤマサト設計	861千円	宮古総合実業高校(海洋工学実習棟)外壁補修工事に關する設計委託業務	有限会社 シモマサ設計	1,596千円	宮古総合実業高校(商業棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務	有限会社 エン設計	1,701千円	美来工科高校(管理棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務	YOU設計室	788千円	八重山高校(体育館)外壁補修工事に關する設計委託業務	匠設計室	1,512千円	八重山高校(図書館棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務	株式会社 守下設計	662千円	八重山商工高校(普通教室棟)外壁補修工事に關する設計委託業務	玉城建築設計事務所	2,730千円	八重山農林高校(管理棟、多目的教室、食品製造科棟、緑地土木科棟)外壁補修工事に關する設計委託業務	株式会社 アムルデザイン	2,420千円	沖縄高等特別支援学校(寄宿舎棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務	株式会社 まつけん設計	1,103千円	大平特別支援学校(普通教室棟、管理棟)外壁補修工事に關する設計委託業務	有限会社 グロリア	3,866千円	糸満青少年の家(本館・体育館)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務	平田設計	3,517千円	名護青少年の家(本館・体育館)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務
大空企画 有限会社	651千円	石川高校(体育館)外壁補修工事に關する設計委託業務																																																																																																									
比屋根設計	2,468千円	糸満高校(管理棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務																																																																																																									
ゆう設計工房	809千円	浦添高校(体育館)外壁補修工事に關する設計委託業務																																																																																																									
(株)具志堅建築設計事務所	1,460千円	沖縄工業高校(生活情報科棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務																																																																																																									
陽建築デザイン	746千円	沖縄水産高校(産振施設棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務																																																																																																									
有限会社 設計集団ファイブ	756千円	嘉手納高校(体育館)外壁補修工事に關する設計委託業務																																																																																																									
アトリエ 海風	840千円	球陽高校(体育館)外壁補修工事に關する設計委託業務																																																																																																									
屋プランニング	6,761千円	向陽高校外壁補修工事に關する設計・監理委託業務																																																																																																									
(株)建築設計同人 匠才庵	1,869千円	コザ高校(普通教室棟・理科棟)外壁補修工事に關する設計委託業務																																																																																																									
玉寄設計室	1,722千円	知念高校(体育館)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務																																																																																																									
碧(Aoi)建築設計事務所	1,659千円	中部農林高校(産振教室棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務																																																																																																									
屋比久建築設計室	1,439千円	豊見城高校(芸術特別教室)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務																																																																																																									
陽建築デザイン	588千円	豊見城高校(特別教室棟(生活))外壁補修工事に關する設計委託業務																																																																																																									
知念建築設計事務所	662千円	名護商工高校(総合情報科棟)外壁補修工事に關する設計委託業務																																																																																																									
ポイントウォーカーデザイン	546千円	那覇工業高校(服飾デザイン科棟)外壁補修工事に關する設計委託業務																																																																																																									
屋プランニング	767千円	南部工業高校(普通教室棟)外壁補修工事に關する設計委託業務																																																																																																									
比屋根設計	683千円	南部商業高校(産振棟)外壁補修工事に關する設計委託業務																																																																																																									
新設計	1,271千円	南部農林高校(生活科実習棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務																																																																																																									
コア設計・企画	567千円	南部農林高校(体育館)外壁補修工事に關する設計委託業務																																																																																																									
株式会社KS設計室	2,699千円	北部農林高校(生活科学科棟、体育館、体育教官室)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務																																																																																																									
きた建築設計事務所	2,867千円	前原高校(管理棟、特別棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務																																																																																																									
有限会社 仲本設計	756千円	真和志高校(理科棟)外壁補修工事に關する設計委託業務																																																																																																									
AKI企画設計室	467千円	美里工業高校(機械科実習棟)外壁補修工事に關する設計委託業務																																																																																																									
大成設計事務所	1,096千円	宮古高校(特別教室棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務																																																																																																									
有限会社 ヤマサト設計	861千円	宮古総合実業高校(海洋工学実習棟)外壁補修工事に關する設計委託業務																																																																																																									
有限会社 シモマサ設計	1,596千円	宮古総合実業高校(商業棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務																																																																																																									
有限会社 エン設計	1,701千円	美来工科高校(管理棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務																																																																																																									
YOU設計室	788千円	八重山高校(体育館)外壁補修工事に關する設計委託業務																																																																																																									
匠設計室	1,512千円	八重山高校(図書館棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務																																																																																																									
株式会社 守下設計	662千円	八重山商工高校(普通教室棟)外壁補修工事に關する設計委託業務																																																																																																									
玉城建築設計事務所	2,730千円	八重山農林高校(管理棟、多目的教室、食品製造科棟、緑地土木科棟)外壁補修工事に關する設計委託業務																																																																																																									
株式会社 アムルデザイン	2,420千円	沖縄高等特別支援学校(寄宿舎棟)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務																																																																																																									
株式会社 まつけん設計	1,103千円	大平特別支援学校(普通教室棟、管理棟)外壁補修工事に關する設計委託業務																																																																																																									
有限会社 グロリア	3,866千円	糸満青少年の家(本館・体育館)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務																																																																																																									
平田設計	3,517千円	名護青少年の家(本館・体育館)外壁補修工事に關する設計・監理委託業務																																																																																																									

工事請負費
518,110 千円

株式会社 沖縄装美工業	44,395 千円	糸満高校(管理棟)外壁補修工事に関わる工事請負費
有限会社 吉永	16,086 千円	沖縄工業高校(生活情報科棟)外壁補修工事に関わる工事請負費
沖縄古賀防水工業株式会社	7,223 千円	沖縄水産高校(産振施設棟)外壁補修工事に関わる工事請負費
沖縄古賀防水工業株式会社	24,041 千円	向陽高校(管理棟)外壁補修工事に関わる工事請負費
有限会社 トクダ美装プラン	27,734 千円	向陽高校(体育館・武道場)外壁補修工事に関わる工事請負費
株式会社 新輝塗装店	45,077 千円	向陽高校(普通教室棟)外壁補修工事に関わる工事請負費
株式会社 リフレッシュ沖縄	17,619 千円	知念高校(体育館)外壁補修工事に関わる工事請負費
コンフォートサービス	20,381 千円	中部農林高校(産振教室棟)外壁補修工事に関わる工事請負費
沖縄ペイント株式会社	19,105 千円	豊見城高校(芸術特別教室)外壁補修工事に関わる工事請負費
恒和ペイント	12,264 千円	南部農林高校(生活科実習棟)外壁補修工事に関わる工事請負費
平安塗装株式会社	32,231 千円	北部農林高校(生活科学科棟、体育館、体育教官室)外壁補修工事に関わる工事請負費
有限会社 大成エンジニア	42,368 千円	前原高校(管理棟、特別棟)外壁補修工事に関わる工事請負費
有限会社 マルタ工業	13,821 千円	宮古高校(特別教室棟)外壁補修工事に関わる工事請負費
株式会社 三協建設工業	23,667 千円	宮古総合実業高校(商業棟)外壁補修工事に関わる工事請負費
有限会社 ユイ塗装工業	20,583 千円	美来工科高校(管理棟)外壁補修工事に関わる工事請負費
株式会社 秀光建設	17,168 千円	八重山高校(図書館棟)外壁補修工事に関わる工事請負費
有限会社 比嘉塗装	35,154 千円	沖縄高等特別文学校(寄宿舎棟)外壁補修工事に関わる工事請負費
有限会社 当銘ペイント商会	52,448 千円	糸満青少年の家(本館)外壁補修工事に関わる工事請負費
株式会社 リュウロード	8,120 千円	糸満青少年の家(体育館)外壁補修工事に関わる工事請負費
有限会社 與那嶺塗装社	38,628 千円	名護青少年の家(本館・体育館)外壁補修工事に関わる工事請負費

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・沖縄県に登録された業者より、入札等により相手先を決定している。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	・予算規模と事業規模が概ね一致している。 ・事業目的にあった支出である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

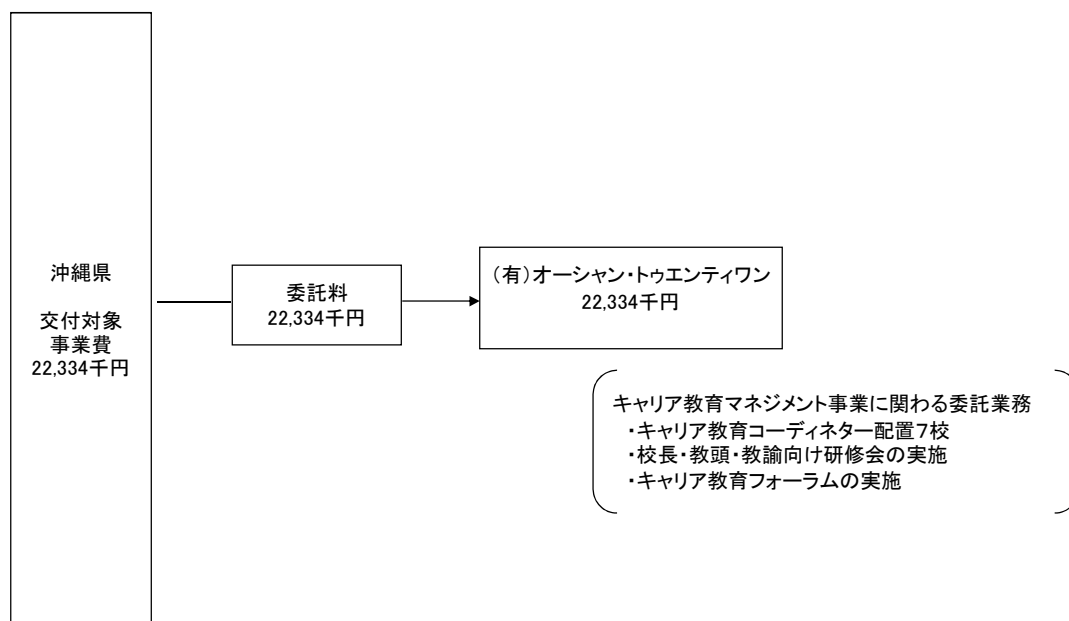
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	213	キャリア教育マネジメント事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進			
担当部署名	教育庁 県立学校教育課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 26 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-2		
事業内容	本県普通高校の卒業時の進路未決定者の減少に向け、教員のキャリア教育実践力の向上を図るため、普通高校7校にキャリア教育コーディネーターを配置するとともに、県内全ての県立普通高校の校長・教頭に向けた研修会や地域や企業、大学との連携を深めるキャリア教育フォーラムを実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額【単位:千円】			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	18,388	—	22,638		
		(b)予算現額	18,388	—	22,638		
		(c)増減額(b-a)	0	—	0		
		(d)繰越額	—	—	—		
		A. 計(b+d)	18,388	—	22,638		
	B. 執行済額		17,729	—	22,334		
	うち交付金充当額		14,183	—	17,867		
	C. 次年度繰越額		0	—	0		
	執行率(%) (B/A)		96.4%	—	98.7%		
予算の状況の説明		委託料に関し、概算払いを行いこれを精算したところ若干の執行残が生じたが、当初計画どおり事業を実施することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	キャリア教育コーディネーター配置校数	目標	7校	—			
		実績	7校	—			
	校長、教頭、及び関係職員への研修会実施(校長、教頭向け1回/年、教諭向け2回/年)	目標	250人	250人			
		実績	250人	483人			
	キャリア教育の実践支援取組支援(指定校7校)	目標	—	21時間			
		実績	—	49時間			
	キャリア教育フォーラムの開催	目標	—	2月開催			
		実績	—	2月開催			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・名護、普天間、コザ、具志川、那覇西、小禄、知念の7校にキャリア教育コーディネーターを配置 ・校長向け研修会参加者77人(H26、1/10)、教頭向け研修会参加者120人(H26、1/24)、教諭向け研修会参加者246人(H25、7/31~H25、8/9、H25、11/14~H25、11/24 各地区での講座)、キャリア教育フォーラム教職員参加者40人(H26、2/2) ・平成25年度キャリア教育マネジメント事業報告書を作成し、全ての県立高校へ配布した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(26年度)
	地域資源発掘のために働きかけた企業・団体数	目標	—	35企業・団体	—		
		実績	—	48企業・団体	—		
	指定校7校における進路未決定者の平均を1.0%以下にする。	目標	—	—	1.0%以下		
		実績	—	—	1.4%		
	実践授業数7校各3回	目標	—	21回(7校×3回)	21回(7校×3回)		実践授業数21回
		実績	—	実践授業数7校合計32回	実践授業数7校合計49回		—
	研修会参加率	目標	—	100%	100%		参加率100%
		実績	—	100%	100%		—
	進捗状況説明	<ol style="list-style-type: none"> 1. 年度途中からの配置であったが、実践授業数は7校で合計49時間と前年度32時間を上回った。キャリア教育の地域資源発掘のために働きかけた企業・団体数等合計50で目標を上回った。 2. 配置校7校の進路未決定率(進学か就職か具体的に決定せずに卒業した生徒の割合)の平均は1.4%であり、成果指標の1.0%以下の目標は達成できず残念であったが、0.4%は人数にして10名程度より次年度の目標達成に向け努力したい。 3. 研修会の参加率は100%であった。 4. 本交付金活用により、キャリア教育の視点を取り入れた授業が配置校において行われ、授業力の向上に有効であった。 					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	1、年度途中からの配置となり、キャリア教育校内研修の時間の確保に支障があった。 2、コーディネーターとの信頼関係構築のため、継続的な配置が望まれる。 3、コーディネーターの力量や配置校におけるコーディネーターの活用方法の理解度において、事業の進捗状況に差が生じている。	年度当初及び、配置校のキャリア教育担当教諭及び教頭向けに、連絡協議会を開催し、事業の趣旨を確認する必要がある。また、年度途中には、キャリア教育推進のための情報交換会を持ち、進捗状況を確認し改善に向けて協議する必要がある。
今後の取り組み方針		
本県の進路未決定のまま卒業した生徒の割合は、全国平均を大きく上回っており、特に普通高校におけるキャリア教育の推進・普及が不可欠である。そのため、引き続き以下の取り組み、改善を行い、同事業を継続実施することが必要である。		
1 年度当初からのコーディネーターを配置する。 2 配置校において各教科ごとに研修会を持ち、キャリア教育の視点を取り入れた授業を実践する。 3 キャリア教育コーディネーターの役割と力を発揮しやすいように、各学校へ活用方法の基準や役割などを示す。 4 事業の効果を検証・評価できるような指標(生徒向けアンケート等)を作成する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先				交付対象外経費
		うち交付金充当額(%)	うち県負担金(%)	うち市町村負担金(%)	その他(%)	
22,334	22,334	17,867	4,467	0	0	0



資金の流 れ、費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を提案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	